

アクションを使用したダッシュボードのインタラクティブ性

「アクションを使用したダッシュボードのインタラクティブ性」のトレーニングへようこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。

アクション

ダッシュボードのアクションは、ダッシュボード内で使用できるパワフルでインタラクティブな機能です。

- アクションにはハイライト、フィルター、URL の 3 つのタイプがあります。

ダッシュボードのアクションは、いくつかのパーツがあります。

- ハイライトアクションとフィルターアクションでは、ソースとターゲットを設定します。
- URL アクションには、動的な入力としてフィールド値を使用できます。
- アクションは、マウスオーバーやクリックなどのマウスアクション、またはツールヒントのメニューオプションから実行できます。

ハイライトアクション

ハイライトでは、選択したマーク以外がすべて薄く表示されるので、マークに注目を集めることができます。ハイライトはビューまたは凡例で実行できます。

それでは、ダッシュボードにハイライトアクションを追加してみましょう。

- この蛍光ペンアイコンは凡例のハイライトをオンにします。
- カテゴリーをクリックすると、そのカテゴリーのすべてのマークがハイライトされます。
- 別の操作でハイライトアクションを作成することもできます。
- [ダッシュボード] メニューをクリックして [アクション] を選択します。
 - 凡例がハイライトされたのがわかります。
- 手動でハイライトすることもできます。[アクションの追加] > [ハイライト] を選択します。
- まず名前を付けます。ここでは「マーケットハイライト」とします。
- [ソースシート] では、ドロップダウンからダッシュボードを選択できます。ここでは既に選択されています。
 - すべてのビューでこのアクションを実行できるよう、すべてのシートをソースのままにしておきます。
 - [ターゲットシート] では、マップを選択解除します。つまりマップはハイライトされません。
- [ターゲットのハイライト] では、[選択したフィールド] を選択します。
 - [マーケット] にチェックを入れます。
- [アクションの実行対象] を [ポイント] に変更します。デフォルトの [選択] は、マウスのクリックという意味です。

この設定変更により、マークの上にポイントすると、下のチャートの同じマーケットのマークがすべてハイライトされます。

フィルターアクション

インタラクティブフィルターは、関連データソースを使用するすべてのビューまたは一部のビューに適用できます。ビューをフィルターとして使用するには、ヘッダーのアイコンをクリックしますが、細かく設定する場合は本来のフィルターアクションを使用します。

- [ダッシュボード] メニューで [アクション] を選択します。

- [アクションの追加] > [フィルター] を選択します。
- 「フィルターでこの国に絞り込み」と名前を付けます。
- [ソースシート] で [マップ] のみを選択します。
- [ターゲットシート] では、[マップ] を選択解除し、他の 2 つのシートはそのままにします。
- [ターゲットフィルター] は [すべてのフィールド] のままにします。
- 選択項目をクリアすることで何が起こるのか選択することが重要です。ここでは [すべての値を表示] を選択します。これはエンドユーザーが通常想定する結果です。
- 今度は、[アクションの実行対象] を [メニュー] のままにします。
- [OK] をクリックします。
- マップ上で国をクリックすると、ツールヒントに下の 2 つのビューをフィルタリングするオプションが表示されます。
- マップはターゲットから除外したので、マップ自体はフィルタリングされません。
- 但し、ハイライトアクションは適用されます。

URL アクション

URL アクションは、Tableau 外の Web ページまたはファイルへのリンクを作成します。フィールド値を URL の動的な入力として使用することで、リンクをデータに関連付けます。URL アクションを追加しましょう。

- [ダッシュボード] メニューで [アクション] を選択します。
- [アクションの追加] > [URL] を選択します。
- アクションの名前にも、フィールドを動的な入力として使うことができます。矢印をクリックして使用するフィールド、ここでは <都市> を選択し、「Wikipedia で <都市> を調べる」という名前を付けます。
- [ソースシート] では、URL をマップで実行したいので、「NZ (ニュージーランド) の売上高」を選択解除します。
- [アクションの実行対象] は [メニュー] のままにします。
- これで、URL は選択した都市に関する Wikipedia のページになります。あらかじめランダムな都市の Wikipedia ページを開き、リンクの形式をコピーしておきました。
 - 都市フィールドを URL に動的な入力として追加します。
 - マップで選択された都市の名前が URL に追加されます。
 - ここでリンクをテストできます。リンクはブラウザで開きます。
- マップ上の都市をクリックすると、選択した都市について検索する「Wikipedia で調べる」というリンクがツールヒントで表示されるようになりました。
 - ツールヒントのリンクには、動的な入力によって生成されたアクション名が表示されます。
- 次にこれをクリックすると
 - URL アクションの結果がブラウザではなく、ダッシュボード下部の Web ページで開きます。
 - ダッシュボードに Web ページがある場合、URL アクションの結果はそこに開かれます。
 - ダッシュボードに Web ページがない場合、URL アクションの結果は、リンクをテストしたときと同じく既定のブラウザで開きます。
- Web ページの操作性は維持され、曖昧さ回避が必要なページが開いた場合でも、ユーザーはブラウザの場合と同じようにページを操作できます。

まとめ

ダッシュボードのトレーニングビデオを視聴いただき、ありがとうございます。Tableau の使用方法について、引き続き無料のトレーニングビデオをご覧ください。